【皇紀二千六百九十三年】 昭和八年七月三十一日 THE KEIJO NIPPO 【日刊】 (郵便物認可) 第九千二百二十三號

京城日報
七月三十一日（日）
夕刊
編輯兼發行人 宮崎吉良
印刷人 小川三之介
京城府太平通一丁目
發行所 合資會社京城日報社

長老は入閣贊成 總裁自身は反對す

政友黨内混亂の虞れある 無任所大臣入閣問題

【東京電報】政友黨が鈴木喜三郎氏から正式に無任所大臣入閣の交渉を受けた際、如何なる態度に出るかについては鈴木總裁は勿論、黨首國際聯盟の意見もまだ一致を缺いてゐる、伺もこの方面では岡崎、床次、望月諸氏その他は鈴木總裁の入閣に強い希望を有し、漸次黨内に實現の空氣を醸成せんとしてゐるに對し、川村、島田諸氏等一派の一部首脳部は這般の鈴木に飽らして、鈴木總裁の入閣交渉には慎重な態度を採るものと見られてゐる。

【東京電報】政友黨は鈴木總裁の入閣に強い希望を有し、漸次黨内に實現の空氣を醸成せんとしてゐるに對し、川村、島田諸氏等一派の一部首脳部は這般の鈴木に飽らして、鈴木總裁の入閣交渉には慎重な態度を採るものと見られてゐる。

【東京電報】三十日は明治天皇の御例祭につき、午前九時皇霊殿に於て政友黨、國民新聞社を始め各黨員下御參列、引續き宮相以下諸員參列し、天皇陛下御親祭の下に厳かに御祭典が執り行はせられ、午前十時とどこほりなく御祭典を終へさせられた、なほ國民新聞社でも厳な御祭典が行はれた

逗子御用邸に再び行幸

【東京電報】天皇陛下には三十日明治天皇の御例祭もとどこほりなく終へさせられたので、例年恒例の如く午前十一時十五分東宮殿下を御供遊ばされ、午後二時三十分逗子御用邸に入らせられた

明治天皇御例祭 陛下御親祭の許に 嚴かに行はせらる

【東京電報】三十日は明治天皇の御例祭につき、午前九時皇霊殿に於て政友黨、國民新聞社を始め各黨員下御參列、引續き宮相以下諸員參列し、天皇陛下御親祭の下に厳かに御祭典が執り行はせられ、午前十時とどこほりなく御祭典を終へさせられた、なほ國民新聞社でも厳な御祭典が行はれた

鈴木氏入閣せば 民政黨は支持 その他には反對意向

【東京電報】民政黨では無任所大臣入閣問題はその時の如何によつて再び政界をして大混乱に陥らしむることとなる虞があるので、その處置の如何は目下注目されてゐる

【東京電報】民政黨では無任所大臣入閣問題はその時の如何によつて再び政界をして大混乱に陥らしむることとなる虞があるので、その處置の如何は目下注目されてゐる

【東京電報】民政黨では無任所大臣入閣問題はその時の如何によつて再び政界をして大混乱に陥らしむることとなる虞があるので、その處置の如何は目下注目されてゐる

【東京電報】民政黨では無任所大臣入閣問題はその時の如何によつて再び政界をして大混乱に陥らしむることとなる虞があるので、その處置の如何は目下注目されてゐる

外務省の新豫算 約三千三百萬圓

【東京電報】昭和九年度外務省豫算

對外通商政策 列國の對日通商壓迫に 外務省の根本方針

歐米で成立した支那の借款約四億 抗日に出れば我國も非常手段 陸軍側協議を進む

借款問題で——宣言を發す 蔣介石、汪精衛から

宋子文紐育へ

【シエルブール(佛)廿九日當通】パリに向つた(佛)政府高官と懇談を遂げた經濟顧問ルーガン氏と宋子文は二十九日午前ランガリヤで當地ニューヨークに向つた

石井全權 ロンドン出發

【ロンドン廿九日當通】經濟會議に日本を代表して出席せる石井全權は、本日午前十時當地發エキプレス号で巴黎に向つた、歸朝には大使館書記官ボンドを帯同し、横浜へ大使館書記官を歴訪の後、八月にはオスロに向う豪定である

涙の目送裡に故國へ向ふ 故武藤元帥靈柩

【新京八月廿九日發】故武藤元帥の靈柩は二十日八時二十分新京發の列車で出發した、當日は新京驛に於ける盛大な葬儀の後、遺族の他日本人會長以下多數の官民の見送りを受けて、一路故國に向つた

東邊道の匪賊討伐 みごと効を奏す

對外通商承認

國内的政策

南支九島嶼問題

必要に應じて佛國に抗議す 邦人の權益保護に

外務、海軍兩當局の態度決定

田の死體 發見せらる

春の太陽

久野豐彦 作
田中比左良 繪
(104)

佳木斯武裝移民團狀況 こゝ一、二年の辛抱が肝要

東西南北

淋病の局所治療と其豫防に絶對權威

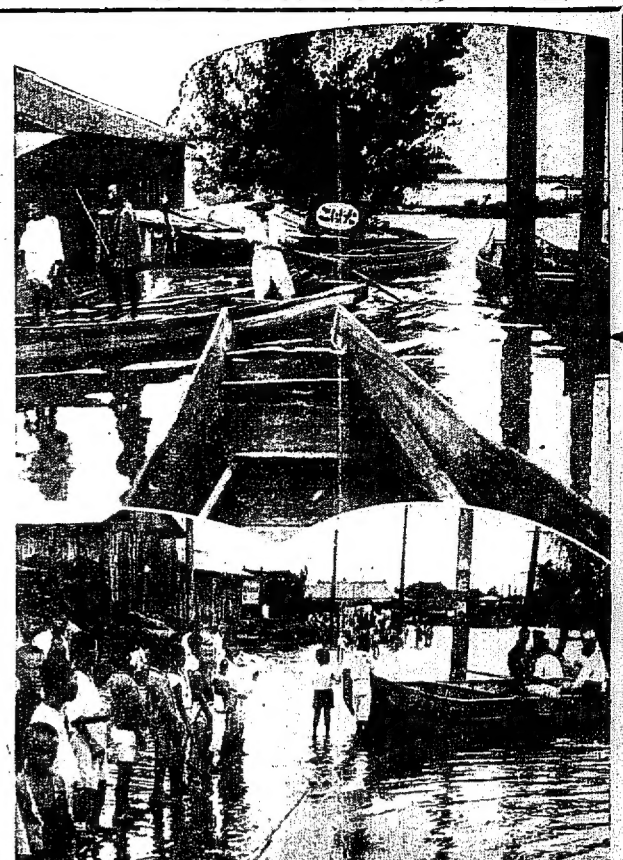
淋病 銀の特殊發見大的界世の劑

ルーゴンゲ

前東京吉原遊廓吉原病院
佐藤榮先生創製
◇九州帝大旭博士發表
◇プラオン銀の特色及作用
◇海外に於ける賞讃
東京本所 勞働者診療所長 馬島僧
日東藥化學研究所

豪雨・平北に驀進

車輦舘附近一帶並に泰川に浸水家屋二千六百戸



【新義州特電】二十七日夜來平安北道一圓に降出した雨は二十九日夜に入り豪雨となり鴨綠江沿岸一帶は三十日未明まで二〇〇ミリに達し、最水量三百七十戸に及び、三帶道路二十間流失、水田三町歩埋没した、大鴨江は三千日朝七時、水田三町歩埋没した、大鴨江は三千日朝七時増水六米四〇に達し、泰川島内二千三百戸の浸水家屋あり、郡廳總動員を始め急遽救援に努めつゝあり、定期乘合自動車はすべて運行を中止し、一帶の各河川は何れも二、三米の増水を見て交通杜絶、鐵道も運轉不可能となつた

鴨綠江の増水

【新義州特電】二十九日鴨綠江上流地方の雨量は一〇〇ミリに達した、これが為鴨綠江は三十日朝七時、水田三町歩埋没した、大鴨江は三千日朝七時増水六米四〇、新義州三米の増水を示し江岸上流一帶の朝鮮は定期船、定期乘合自動車はすべて運行を中止し、一帶の各河川は何れも二、三米の増水を見て交通杜絶、鐵道も運轉不可能となつた

大寧江泰川江増水交通杜絶す

【新義州特電】大寧江の増水により船舶泰川間の自動車運轉不能となり郵送、郵山間は泰川江増水の為交通杜絶した

新築の家屋倒れ遂に一名壓死

三名は重傷、けさ玉仁洞の椿事

府内玉仁洞字[illegible]の[illegible]が新築中の家屋は連日の豪雨のため三十日午前五時二十分頃大音響と共に倒壊し、同家屋内に寝てゐた附近住民同家屋人六名中二名は幸にも外に逃げ出したが、四名は下敷となつたので直ちに附近のものが駆出したがこのため金振奉（三）主人の李[illegible]（三）主人の李[illegible]の三名は打撲傷を受け重傷、金敬[illegible]は遂に死亡した

漢江の水量

井日午前十一時現在

加平	四米六〇
驪州	五米九〇
旭山	七米七〇
東大門	七米二〇
A道橋	六米八〇
湘川	八米五〇

廟浦龍山の水害

軌道に舟通ふ

龍山方面の被害は昨夜四時頃より桃花洞方面は盛潮より桃花洞に至る電車は線路より一帶は泥沼と化した、何れも数日間は豪雨に浸されたものゝみでこれ以上に水禍は拡大せぬ見込みである

八月十二日に御内着帶式

【宮廷特電】皇后陛下には遠からぬ御懐妊はしく御内着帶式あらせられるが、すでに御懐妊四月にて八月には御五月に達らせられるので、同月第一の吉日たる十二日の吉日を下しお選出遊ず御内着帶式を挙げさせられることに御内定相成つた由承るが、皇后陛下には第山御用邸にあらせられて遠慮なく御懐妊は一切御取止めになり、ひたすら御懐妊の由承れ承はる

西大門管内

◇府内眼底洞二〇七ノ四號、理元福方石垣ひさし九尺、長さ井尺倒潰し温突二間半損

◇眼底洞四六ノ七四號先石垣高さ十尺、長さ井尺倒潰し同洞四六ノ七四號、塀ひさし倒潰し、同家の次女國子（一五）が下敷となつたも負傷なし

◇同洞四六ノ七六一號黄萬基左石垣の倒潰

◇玉川洞二六番地俘倉庫左石垣高さ二間半、長さ四十間倒潰し損害井四〇円

◇眼底洞四六ノ四一六番地李[illegible]左石垣高さ二間、長さ一間半倒潰

◇眼底洞一〇七の五號李[illegible]方石垣高さ二間半、長さ一間倒潰

◇中林洞三五番地の四〇號崔民欽邸塀二間倒潰

◇蓮新町四丁目一六番地佐野家一方石垣長さ十尺、高さ七尺倒潰

◇蓮新町四丁目四七番地小西廣丸方の石垣一部崩れる

◇首洞町二丁目四二の一四號印[illegible]明方於東の一部倒潰

◇竹添町三丁目三五番地李明方裏手石垣長さ五間、高さ七尺倒壊

◇天然洞一一一の二號石〇樊方の裏の石塀崩壊、被害有石垣高さ九尺長さ約二十尺倒潰した

鍾路署管内

倒壊家屋

甘洞二〇五四　安承鑑（十畳約一間）

鴨綠江の水量は七米四

【寫眞説明】（上）浸水した龍山方面の低地（下）麻浦出張所近の浸水

蘇島は七米四

蘇島の水量は三十日正午現在で七米四（二十三尺三寸）に達したが洪水の憂はない、なほ同所の危険水量は九米である

价川綠不通

豪雨による鐵道被害は价川線、安州北部間鐵道線、自動車運轉ほぼ復旧間鐵道間不通となつた

嬶ッ！

罪晴れて！

平壤に落着いたい渡邊氏は京城上る

還へとさるる

【平壤】二年振りで明れの無罪を祝し愛妻に抱擁吉氏は京城上り愛妻と共に下平、折柄降り出した雨の中を自動車で住居に永の未決監をやつれ顔の身を車輪から自由へと、喜びに溢れた身を寄せ合つてゆるく帰るなり、家前庭を待つて平壤駅に無罪になつた御礼詣りをなし、その足で島田平壤検事局長「罪なかれ」と励つてくれた人々に挨拶廻りをして正午頃帰宅、落着いた、記者が訪ねると身心共に水の栄養生活で疲労しきつて居ります、無罪になつたのも神と皆さんの御恵であります、すぐ大神宮に参拝に行つて来ました、御心配して下さつた仲人さん宅で長らく休養して結婚祝に行つて整理もして来たいと思ひます、それから家分保養のために鳴温泉に参ります、刑部補佐官にお願ひすゝかどうかは温泉へでも行つて保養してゐますと、それで平壤に来ますと

地方版

鎮南浦の府勢擴張
來月匆々確定の上發表
町里洞名も改正

【鎮南浦】道に鎮南浦府を設置した行政區劃の擴張、並に市區改正及びこれと共に斷行すべき都市の各町里名の改正に就いては其後部局と鎮南浦府との間に折衝を重ねてゐた部分すらくと進捗來る六月頃から擴張區域の詳細な調査のため實地調査を開始し、秋一部間に亘って調査することになつた、一方改正町里名に就ては市廳府尹自から古書を繙き種々研究中であつたが大體其腹案を得たらしく新たな名稱的に確定することになつた

標準小麥 査定會
意見も聽く

【沙里院】三十一日から二日間沙里院農事後で開催される第五種標準小麥査定會における協議事項は左の通りで最終日の午後は當郡産小麥の査定を聽取するとともに小麥の異品種混合限度▲農事小麥及屑麥撰別並に不合格の原因及び雪蔽期並に混入する石の寫真說明▲水洗小麥▲調製用具の普及奬勵

水原の暴行犯人逮捕

【水原】二十七日午後八時過ぎ水原郡三倉洞鈴蘭部の道中で五十女四人が暴行を加へて逃走した犯人はその後水原署で捕力捜査中であつたが二十八日午後一時半水原警察署に出頭し自白した、犯人は行方不明の金某(二十七)で高麗法王住の道中で犯行を行つた、仰渡署は暴行傷害罪として送致した、此奴は用心棒の前科二犯の常習犯人である

ラヂオ氣象の通報受信所新設
取締船の整備とともに
平南水産係で計畫

【平壤】平安南道水産係では今回の道警察部の取締船に搭乗する警官の通報受信所を鎮南浦に設置してゐる

人妻の家出

【木浦】京畿府で和町一ノ三五番地の巫女まつ子(二十)は去る廿日家出したまゝ行方不明になつたので夫の宗吉から廿九日木浦署へ捜査願を出した府内のカフエーにゐるらしいので目下捜査中

親の仇討ち未遂
控訴取下げ

【大邱】不良職業の親の仇にめぐり逢ひこれを殺して地下の父母の靈を慰めんとしたが果す身は獄窓に繋がれた羅州生れ金大錫は羅州地方法院で懲役四年を言渡されこれを不服として控訴した大邱覆審法院刑事部係りで二十九日公判が開かれ言渡下げ一審判決に服した

三百の賊團
武器彈藥を運ぶ
馮玉祥から支給
滿洲の赤化を企つ

【安東縣】廿七日午前十一時頃新義州警察署で取扱した八年度滿洲外六縣の武器彈藥を滿洲工業部は林龍民氏外三名の金庫は林龍民氏外三名の金庫は右龍博士外三名を選任した

家畜の恩人 蠣崎博士引退
斯界の世界的泰斗
本府獸疫血清所長

【新京】獸疫血清所長蠣崎博士は本府獸疫血清所長として獸疫血清の研究に多大の貢獻をもたらすものと期待されて獸疫血清所長に就任した蠣崎博士は十八日午前十時から二十九日の間調査で五十三、七ミリ降雨があり二百の降雨量に達してゐるので沿内各地の大豆栽培には相當の被害があり豐作豆悲の聲が村落に一抹の暗影を投じてゐる

雇女の厭世自殺

【安東】鴨綠江の屈指の名所として知られる安東市の屈指の名所として知られる安東市の屈指の名所として知られる安東市

寺子屋義賊

【102】

土師清二　（挿画　恒春）

予供無邪氣（二）

草むらの中、楊柳の陰、雲の下に隠れて遊いてゐる拐方三十余人を、

『どうしたい。お前たち出らやアネねえのか』

と聖がかけて、蜘蛛け見遣した。

狐狸々々と二度、宇く隠れようとする後姿を見ると、

『御苦労さまだつた。ちやア、おれア帰るぜ、みんな左様なら』

聖々をして野田坂を、聖は、の方へ――チラ〳〵と見がる天満の方へ、去つて行くのだ。

暗の中へ、浸ひ取られるやうにだん〳〵聖の背後姿が消えてゆく……。

淋くホッと息を吐いて拐方たちは、九右衛門と聖蔵の側へ集まつた。

『大夫夫……な、暗だつた……なんのこれしきの時、迷惑やう。うん……証か、暗布……縛つてくれ。い、気配に、動脈は……動脈は外れてをる……確に、外れてをる……』

呻りながら九右衛門の顔色蒼白なのが、夜目にもハッキリとわかるほどだ。

『動脈……動脈……動脈だと目脈が、止まらん……死ぬる。いや……大夫夫……聖蔵を呼んでくれ』

（我慢が、嵩過ぎるからだ。あんな思想ばかりで、ほい男も結しい。何を、さうでもなかつた……正面から、強く凡つて来る奴なら、前って、斬り殺かあるが……）

（後出遅つた、九右衛門は、ふ、ふ、ふ、）

と、思つて、結局は、口から、苦笑が、洩いてくるのだ。

『バテ……ここは、異長だな』

聖は、立止まつて、フト右手の、掌、指を、一目、見ると、行過ぎ、が、何、見たのか――見、指を、長して、見、ふと、、、